

イエスに目を向ける

皆さん、こんにちは。明けましておめでとうございます。去年は素晴らしいクリスマスをお過ごしになったでしょうか。私を初めて見る方が多いですから今から簡単に私と家族のご紹介をしましょう。改めましてごあいさつ申し上げます。新年、まだ始まったばかりですが素晴らしい時を過ごしておられることを願います。私はマイケル・ワイズと申します。少し長くなってしまいますが、私の証と今までの経歴を簡単にお話しましょう。私はウエスト・バージニア州出身で、その後何度も引っ越しをして最終的に父の出身地であるニューヨーク州のロチェスターの近くにたどり着きました。そのあたりにある小さなバプテスト教会に通い、子どものころから信仰を持ちましたが、だいたい大学生になるくらいまでまた更に何度も引っ越しをしました。そして大学の時にやっと洗礼を受け、通える教会を見つけられたのは素晴らしいことでした。大学は舞台技術専門で卒業しましたので、今まで舞台、ビデオ、編集、舞台撮影などしてきました。今の仕事の1つであるザイオンズ・ホープという団体でもスタジオ編集をしています。そして1996年に学士を終えてからは神学校へ行き、2013年に修了してから、昨年博士号も取得しました。主を賛美します！（録画している時は2021年なので、今でいうと昨年ではなく一昨年ですね）。とにかく数年かけて無事に修了できたことは感謝です。宣教の働きは2006年に始めました。まずはフィリピンに行き素晴らしい時を持ちました。多くの人に出会いましたが、海外に行くことは違いを経験することでした。それからイスラエルにも三度行き、「殉教者の声」という団体と一緒に南米のコロンビアにも行きましたし、中国には四度、他には台湾にも行きました。日本でも仙台に2年間住んだことがあります。仙台では私立のクリスチャン学校、明泉学院と一緒に活動し、またスタジオでも編集などをしていました。そして妻と出会ったのも仙台です。写真を後からお見せしますが、それが簡単な私の経歴です。聖書は今まで20年間教えてきましたが、まだまだ学ぶことがあり、神が人生を変えられる様子を見るのは素晴らしく聖書から教えるのは大好きです。今住んでいるフロリダの中心地で牧師を4年間しており、そこでも沢山学びがあり、祝福となっています。では私と家族の紹介のために少し写真をお見せしたいと思います。今からは写真やパワーポイント、ビデオの画像と何度か切り替えていきたいと思います。まずは仙台での弟子訓練の様子です。これは現地の牧師と一緒に始めた少人数のグループで、グループは私がいなくなっても続いています。2016年にそこを経ちましたがそれまでもう一つの教会とも一緒に活動し素晴らしい時を持ちました。その時の活動の写真は一枚だけで次の写真は私と妻のペック・クアンの写真です。彼女はシンガポール出身で、この写真はデート期間中に2人で公園など外にデートに行った時と、私が日本を経つ前に婚約した時の写真です。私が真剣だと示すために日本を経つ前に婚約指輪を注文し、指輪が届いたのは私がアメリカに戻ってからだったのでちゃんと指がはまって良かったです！そしてその後妻が日本での働きを終えてアメリカに戻って来てから結婚しました。そしてその後、ダニエルが誕生しました。これは誕生した日の写真です。彼は、はらぺこで泣き叫びながら生まれてきましたが3歳半の今でもいつもはらぺこです！もちろん彼をとっても大切にしていますが、2人とも初婚ですが晩婚で40代半ばですから大変なこともあります。はじめてのことばかりで沢山学ぶことがありますから皆さんもアドバイスがあれば是非お願いします。次の写真はほんの数週間前の写真ですが、フロリダで私がカンファレンスをした時に待っている間待っていたペック・クアンとダニエルの写真、そして次は12月4日の私の誕生日の写真です。ダニエルはケーキを切るのを「お手伝い」してくれています。お子さんが居る方はご存知だと思いますが何年かしたらもうお手伝いなんてしてくれなくなるでしょうから、したいと言ってくれる時期を楽しんでいます。ここまで、私がどんな人で、何をしているか少し紹介するために私の証を少しお分かちしました。

今日は、イエスに目を向けましょう。私は頻繁に講解説教をするのですが、今日のような主題説教・体系的説教も役立ちます。今から聖書箇所を読み上げますので、御言葉に敬意を表し、起立できる方はどうぞお立ちください。

ヘブル 12:1-2 「12:1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。12:2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。」

A. 前後関係から見る聖句

ヘブル人への手紙は複雑です。主要ポイントは、イエスがより秀でていたということです。御使いより、モーセより、レビ記のいけにえのシステムやその他何よりも、です。キリストに従うユダヤ人たちは、律法への忠誠心や迫害の恐れから、いまだ律法に従い、そこに留まりたい誘惑にあっていました。著者は、律法を手放し信仰による恵みを受け入れなさいと教えています。また著者は 11 章で、信仰と誠実さを強調し、そこから「雲のように取り巻いている証人たち」という表現につながっています。

そしてヘブル 12 章 1-2 節で著者（恐らくパウロもしくはルカ）は、彼らより先に来た人々の誠実さのゆえに、妨げとなっているもの、そして「不信心」というまつわりつく罪を取り除くように教えます。ここでは目の前にある競争を走る走者の例えが用いられています。どのように走るのでしょうか？

著者が教えているのは、イエスに目を向けよ！ということです。イエスは信仰の創始者であり完成者、私たちの信仰の原点であり成し遂げてくださる方です。イエスこそが私たちの競争の焦点であり、イエスのご褒美なのです。イエスは私たちの主、そして神の御子です。私たちの罪のために死なれ、三日後に再びよみがえられました。イエスは天に上られ、再び戻って来られます。また十字架刑という人間の考え出した最も苦しく辛い死を耐え抜いたにも関わらず、イエスの前に喜びが置かれたこともここで思い出させています。イエスは裸で十字架につけられ、私たちの罪のために人前で辱めにあいました。しかしイエスは何が起こるかご存知でした。イエスは再びよみがえられ、今や御父の右の座についておられます。ヘブル人たちは忍耐を持って走り続けなければなりませんでした。それを可能とする唯一の方法はイエスに目を向けることでした。

このことに注目するのは特に新年に向けて意味深いことです。私たちもイエスに目を向けなければなりません。個人、家族、そして教会としての必要を覚えてイエスに目を向けるのです。私もまだこの真理を人生に取り入れるべく学んでいる過程ですから、これは私にとっても重要です。皆さんに質問です。この新年、あなたは何を必要としていますか？どのような変化が必要ですか？

B. 私たちの必要から見る聖句

1. 忍耐が必要-イエスに目を向けよう

皆さんの中には疲れている人もいるでしょう。感情的、精神的、霊的にまたは身体的でしょうか。全員ではなくとも私たちの多くがこの中の 1 つかそれ以上が当てはまるでしょう。例：昨年のある時点で、私は 4 つの仕事をしていました。フルタイムの仕事、牧師、オンライン説教の傍らクリスチャン

大学の学士レベルの授業準備をしていました。またダニエルは3歳でしたから、彼の世話もありました。すっかり疲れていて、忍耐が必要でした！

あなたもそうでしょうか。しかし神の強さを受け取るために、私たちは自分たちの弱さを認めなければなりません。「私にはできない！」と言う時、神の強さが入ってきます。

コリント第二 12：10 「ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」
イエスに目を向けましょう。

2. 勝利が必要-イエスに目を向けよう

人生を台無しにするような恐れ、罪、感情、依存症など、勝利が必要な何かがありますか？

ヨハネ第一 5:4 「5:4 なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」

ローマ書 6 章も読んでみてください。神は私たちの罪の上に勝利をおさめられました。私たちが罪を犯すことがないという意味ではありません。これは、私たちがそうさせない限り、罪は私たちに対して何も権威を持っていないことです。私たちは信仰によって勝利を掴みます。キリストにおいて、私たちは「ノー」と言える自由があります。古い讃美歌にこうあります「イエスにある勝利を思い起こせ。イエスに目を向けよう...」

3. 真理が必要-イエスに目を向けよう

私たちは嘘の世に生きています。メディアも、政府も、家族も、自分たちでさえも嘘をつきます。嘘はよくあることだからと問題視されない場合もあります。面目や調和を保つために嘘をつくことは問題ないという人もいます。平安のために嘘をつく必要があるなら、それはもはや平安ではありません。神は真理の神ですから、クリスチャンは真理を愛すべきです。どこに真理を求めのでしょうか？
神の御言葉に、です。靈感によって書かれた言葉、そして受肉された生けることばに。靈感によって書かれた御言葉は、肉となり、生き、死に、よみがえり、そして戻って来られる「ことば」について私たちに教えています。

ヨハネ 14:6 「14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。...」

私たちに真理が必要です。真理は私たちに自由にします。イエスに、イエスについて教える唯一の本、聖書に目を向けましょう。

4. 愛が必要-イエスに目を向けよう

ヨハネ第一 3:1a

「3:1 私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。...」

聖書は神が私たちを愛していると宣言しています。それは物事がうまくいくという意味ではありませんが、ご自分の子どもへの神のご誠実な献身は決して変わることはありません！もしもあなたがクリスチャンであれば、神はあなたを愛し、決してあなたを離れることはありません。もしも結婚で困難に直面している、親からの愛を感じられない、独身もしくは再び独身になってしまったなど感じているならば、イエスの愛とイエスがあなたを信仰によって受け入れてくださるということに目を向けてください。

5. 希望が必要-イエスに目を向けよう

ペテロ第一 1:3 「1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちが新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。」

私たちはまた、希望のない世に生きています。特に日本ではそうです。2020年には、新型コロナウイルスが原因で亡くなるよりも多くの方が自殺で亡くなりました。

<https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2020.10.06.20207530v4>

日本の警察庁の記録によると、2020年10月の自殺による死亡者は2,153人で、厚生労働省によると新型コロナウイルスによる死亡者は2,087人でした。鬱や孤独が2020年の自殺を誘引していました。

<https://hdogar.medium.com/the-truth-behind-japans-rising-suicide-rate-b36fd2e43321>

その他の種々の要因がある一方で、一つに希望の喪失があげられます。人には希望が必要です！生ける希望であるイエスに目を向けましょう。もしもこの世の人やものに究極的に希望や安定を求めるなら、あなたは失望することでしょう。家族や友人、その他に希望を見出すこともあるものが、イエスがあなたのまことの希望になっていますか？

6. 知恵が必要-イエスに目を向けよう

コリント第一 1:30 「1:30 しかしあなたがたは、神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとになりました。」

今、難しい決断の中にいますか？教会としてはそうですね！もしくは通う大学やこれからのキャリアについて考えているでしょうか。キャリア転向や、ミニストリーを始めることを考えているでしょうか。または結婚や子どもを持つことを考えているかもしれませんね。何であれ、知恵が必要となります。イエスとイエスの御言葉に目を向け、神に最も栄光をお捧げすることができる結論を見定める必要があります。

7. 癒しが必要-イエスに目を向けよう

質問です。癒しについて考える時、自然と何を思い浮かべますか？身体的癒しですね。

マルコ 1:34a 「1:34 イエスは、さまざまの病気にかかっている多くの人をいやし、また多くの悪霊を追い出された。」

すべてのクリスチャンに癒しが保証されているとは思いませんが、神がそう決められれば神は癒すことができます。神は偉大な医者です。

あなたが必要としているのは身体的、感情的、精神的、もしくは霊的な癒しかもしれません。神に祈りましょう。信仰の内に神に願い、神の御心に従いましょう。神は医者、薬を用いられますし、直接介入されるかもしれません。例：私は、ミッションの現場で神が人を癒されたという話を多く聞いたことがあります。私は、現在は癒しの賜物があるとは思っていません。テレビや、対面でもオンラインでも、偽教師が「癒しの十字軍」と称して、立証することができないことを言っていることを信じていくことができません。けれども、神は癒すことができます。医療を通して、奇跡的になど、成し遂げられる方法に関わらず、すべての癒しは神から来ます。信仰において神に癒しを求め、イエスに目を向けましょう。

応用：アジアの文化では、弱さを認めることが受け入れられない傾向にあります。ですが、自分ができないと認めるまで物事が変わることはありません。感情的、霊的、身体的、精神的癒しなど、あなたが何を必要としているかに関わらず、です。神は働かれますし、良い聖書に基づいたカウンセリングは人生を変えることができます。もしもあなたが憎しみ、怒り、罪悪感、恥、役立たずと感じていれば、神はどれに対してもあなたを助けてくださいます。しかし問題が改善される前にその問題を認めなければなりません！イエスに目を向けましょう！

8. 勇気が必要-イエスに目を向けよう

ヨシュア記 1:6-7 「1:6 強くあれ。雄々しくあれ。わたしが彼らに与えるとその先祖たちに誓った地を、あなたは、この民に継がせなければならないからだ。 1:7 ただ強く、雄々しくあって...」

これはヨシュアに対して言われたことですが、私たちにとってもそこに原理があります。私たちは信者として聖霊を内に持っています。聖霊は回心することで内在してくださいます。聖霊の力も同時に受けます。質問です。あなたは憶病ですか？怖がりですか？人生に、死に、他の人が自分をどう思うかに、ウィルスに、自分自身のために立ち上がることに、キリストを他の人と分かち合うことに恐れを感じますか？人は皆恐れるものです！不安を抱えるものです。イエスが助けてくださいます。私たちが恐れをイエスに受け渡して彼に寄りかかり、自分の弱さを認める時、イエスの力にあずかることができます。例：長い間、私も恐れに人生を支配させてしまっていた時期がありました。今でも恐れを持つことがあります。神の恵みと正しい教理によって、恐れることがないのが分かっています！恐れなくてください！聖書でも頻繁に思い起こされる部分です。神の約束にしがみつき、信仰によって歩み出て、神に勇気を求めるのです。私たちの必要を求めてイエスに目を向けるからこそ、イエスは備えてくださると約束されます。

9. 救いが必要-イエスに目を向けよう

これが私たちの最大の必要です。私たちは、聖く正しい神を怒らせた罪人です。神の律法を破り、自分の意志で神に背きました。けれども神のはその恵みにより、一つの救いの方法をお与えになりました。神の唯一のひとり子、イエスを通して。イエス、永遠の神の御子、神である御子が人となり、処女マリヤから生まれたのです。イエスは私たちが生きることができない完璧な人生を生きました。イエスはしるしを行い、神の真理を宣言し、説明し、ご自身が神であると宣言されました。イエスは死刑となりましたが、その死は普通の死ではありませんでした。

コリント第一 15:3-5 「15:3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、15:4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、15:5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。」

イエスは私たちの受けるべき死を死なれました。イエスは正しくない者のための正しい方、不義なる者の義なる方、罪びとのための罪なき方です。自分の罪に背を向け、救い主としてのキリストに信仰を置きましょう。イエスは私たちの罪と罪過を取り去られました。私たちがイエスを信頼する時、神は私たちを神の家族として永遠に受け入れてくださいます！イエスがただ一つの道です。ただ完成されたイエスの御業だけが、あるべき姿で神との正しい関係を持つことができる方法です。神に人生をお捧げしましょう。

結論：自己紹介と神の御言葉を分かち合う機会を頂きありがとうございます。大変身に余る思いで、光栄です。今年、私たちのすべての必要を覚えてイエスに目を向けなければなりません。個人として、家族として、教会として。もう一度聞きます。皆さんの必要は何ですか？それが何だとしても、イエスはその必要に応えることができます。イエスは宇宙の神、恐れられるべき方、兄弟よりも近い方、愛されるべき方です。御霊の動かれるままに、主が私たちの心の内に働かれ、慰め、向き合ってくださいますように。今、教会を探されているでしょうか。OICに来られてはどうか。洗礼を考えておられますか？それなら教会のリーダーの方と話しましょう。そのような必要が皆さんもあるでしょうか。聖句にあるようにキリストのからだとして、私たちは手、足なのです。必要がある人達を助けます。キリストの証として、キリストのために、キリストを分かち合うために、人を愛するために。キリストが私たちを先に愛されたからです。

祈りましょう。

父なる神様、この時をあらためて感謝します。

主よ、全てに関してあなたに目を向けることができることを感謝します。

ここに立ち止まり今日学んだことを覚えるにあたり、

今日のメッセージがただの頭の知識で終わることなく、

私自身も、聴いている方すべてが心から理解し覚え、

この新年、本当の意味であなたに目を向けることができますように。

私たちの必要が何であろうとも。

私たちがあなたを愛し、敬い、賛美し、

あなたに導かれますように。

また OIC の皆さんの必要のために祈ります。

彼らを導き、備え、決断を助けてください。

そしてすべてにおいてあなたが栄光をお受けになりますように。

素晴らしい偉大なイエスの御名によって祈ります。

改めまして、今日はありがとうございました。

また次回お目にかかれるのを楽しみにしています！